

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

特化則対応

# ALES DYNAMIC PRIMER

ターペン可溶変性エポキシ樹脂系万能下塗塗料

## アレスダイナミックプライマー

白

グレー

赤さび色

黒さび色

弱溶剤形変性エポキシ樹脂プライマー JASS 18 M-109 適合品

# 幅広い用途に対応可能



## 素材適性

○:推奨適用素材です △:本施工前に試験塗装等で付着性を確認してください。場合によっては、下塗塗料の変更が必要になります。×:不適です

素材種	鉄		熔融亜鉛メッキ		電気亜鉛メッキ		ステンレス・アルミ		窯業系サイディングボード	金属サイディングボード	木部		新生瓦	モルタル・コンクリート	
	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部			外部	内部		外部	内部
新設	○	○	△※2	○	△※2	○	△※2	○	○※3	○※3	○	○	—	○	○
塗替	○※1	○※1	○	○	○	○	○	○	○※3	○	○	○	○※4	○	○

※1 鉄部に関しては塗替において旧塗膜を除去した箇所は補修塗りを行ってください。

※2 水廻り、高湿度環境下での適用は避けてください。

※3 無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な樹脂で処理された窯業系サイディングボードは十分な付着性を得られない為、本製品の代わりに「アレスタイナミックシーラーマイルド」を用いてください。

※4 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には塗装できません。下地の劣化が激しい場合は下塗に「アレスタイナミックシーラーマイルド透明」をご使用ください。

## 付着試験(亜鉛メッキ面)

下塗	上塗	付着強度(kg/m <sup>2</sup> ) *1	引張付着試験後の剥離・破断箇所 *2
スーパーザウルスII(1回塗り)	2液ウレタン(2回塗り)	8.5	塗膜層内 90%
当社強溶剤亜鉛メッキ用エポキシさび止め(2回塗り)	2液ウレタン(2回塗り)	5.0	塗膜層内 90%
他社弱溶剤2液エポキシさび止め(1回塗り)	2液ウレタン(2回塗り)	3.0	素材と下塗間 100%

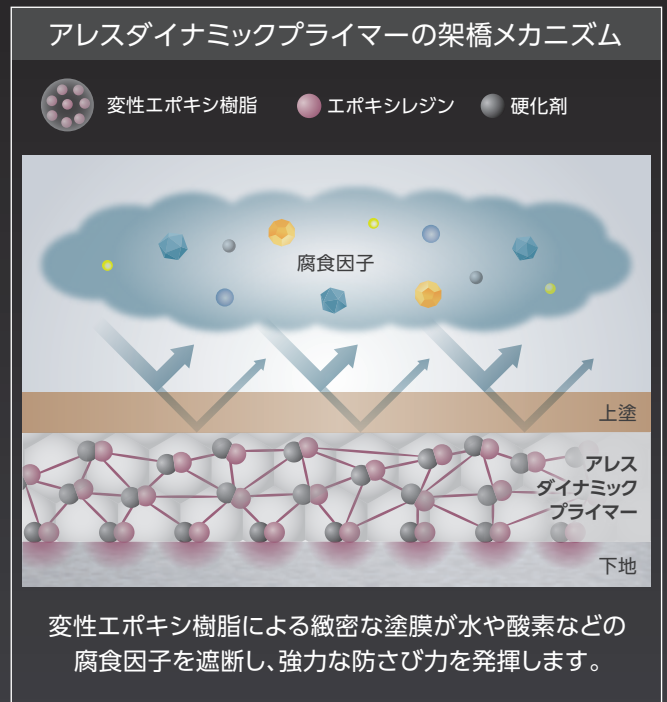
# あらゆる素地へ強力な付着性を発揮

鉄、亜鉛メッキ、ステンレス、サイディング、木部、新生瓦、モルタルに  
塗装ができるオールマイティーな下塗塗料です。

## ALES DYNAMIC PRIMER

### 優れた防食性能

構造物さび止めペイント(JIS K 5551 A種)と同等レベルの防錆力を示します。



### 抜群の作業性

ハケ・ローラーの作業性に優れ、速乾性で作業効率が高く、  
温度条件によりその日のうちに上塗塗装が可能です。

### 幅広い下地適性

亜鉛メッキ、アルミニウムやコンクリートなどの各種素材に対  
して優れた付着性を発揮するとともに、各種旧塗膜との密着  
性に優れます。

### 幅広い上塗適性

弱溶剤塗料(1液・2液)、屋根用塗料の各種上塗塗料に対応  
可能です。

### 優れた環境性能

弱溶剤タイプで臭気が更にマイルドになり、トルエン、鉛化合物  
などの有害物質を配合しない、人と環境にやさしい塗料です。

### 特定化学物質障害予防規則(特化則)対応品

特定化学物質であるエチルベンゼンの含有量が1%未満で  
あるため、特化則の規制を受けません。

TECHNICAL  
CAPABILITIES

## アレスダイナミックプライマー 標準塗装仕様

### ■一般鉄部

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	下地調整	【新設】劣化した黒皮やさびは、電動工具等で除去し、全面清掃、脱脂、目粗しを行い、被塗面を清浄にする。 活膜は目粗しを行い、清浄な面とする(3種ケレン)。 素地露出部はアレスダイナミックプライマーで補修塗りをを行う。 【改修】電動工具・手工具等で、さびや劣化した旧塗膜を除去する。活膜は目粗しを行い、清浄な面とする(3種ケレン)。 素地露出部はアレスダイナミックプライマーで補修塗りをを行う。				
2	下塗	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10
	塗料用シンナーA		0.16~0.18		エアレス	
3	上塗	2	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10
	塗料用シンナーA		0.16~0.18		エアレス	

### ハルスハイリッチ無機有機複合ハイブリッド塗料仕上げの場合

3	中塗	アレスダイナミックMUKIマイルド中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15
4	上塗	アレスダイナミックMUKIマイルド(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10

### ■非鉄金属(亜鉛メッキ・アルミ・ステンレス・金属サイディング・ガルバリウム鋼板)

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	下地調整	【新設】全面清掃、脱脂、目粗しを行い、被塗面を清浄にする。 白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。 【改修】電動工具・手工具等で、さびや劣化した旧塗膜を除去する。活膜は目粗しを行い、清浄な面とする(3種ケレン)。 素地露出部はアレスダイナミックプライマーで補修塗りをを行う。				
2	下塗	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10
	塗料用シンナーA		0.16~0.18		エアレス	
3	上塗	2	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10
	塗料用シンナーA		0.16~0.18		エアレス	

### ハルスハイリッチ無機有機複合ハイブリッド塗料仕上げの場合

3	中塗	アレスダイナミックMUKIマイルド中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15
4	上塗	アレスダイナミックMUKIマイルド(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10

### ■窯業系サイディングボード

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	下地調整	【改修】窯業系サイディングボードのクラック・ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。				
2	下塗	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10
	塗料用シンナーA		0.16~0.18		エアレス	
3	上塗	2	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10
	塗料用シンナーA		0.16~0.18		エアレス	

### ハルスハイリッチ無機有機複合ハイブリッド塗料仕上げの場合

3	中塗	アレスダイナミックMUKIマイルド中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5~15
4	上塗	アレスダイナミックMUKIマイルド(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0~10

※新設の窯業系サイディングボードや、表面の劣化が進んでいない場合、付着性が十分に得られないことがあります。

そのような場合は、本製品の代わりに「アレスダイナミックシーラーマイルド」を用いてください。

※無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な樹脂で処理された窯業系サイディングボードには塗装できません。

※窯業系サイディングボードに既に反り、欠落、ワレ、変形が発生している場合には、ボードを取り替える必要があります。

## ■ 木部

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	下地調整	【新設】 汚れ、付着物を除去し、研磨紙P120～240を用いて研磨紙ずりを行う。 節及びその周辺は、セラックニスを用いて節止めを行い、穴埋めの必要があればポリパテなどで穴埋めを行う。 【改修】 付着劣化した旧塗膜、汚れ、付着物などを入念に除去し、全面サンドペーパーで目粗しを行い、素地を十分に乾燥させる。				
2	下 塗	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0～10
	塗料用シンナーA		0.16～0.18		エアレス	
3	上 塗	2	0.12～0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0～10
	アレスダイナミックTOPマイルド 塗料用シンナーA		0.16～0.18		エアレス	

### ハルスハイリッチ無機有機複合ハイブリッド塗料仕上げの場合

3	中 塗	アレスダイナミックMUKIマイルド中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5～15
4	上 塗	アレスダイナミックMUKIマイルド(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0～10

## ■ 新生瓦

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	下地調整	【改修】 劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、苔などは高圧水洗浄機やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去する。 十分に乾燥した清浄な面とする。				
2	下 塗	1	0.13～0.23	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0～10
	アレスダイナミックプライマー(ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA		0.16～0.27		エアレス	
3	上 塗	2	0.15～0.25	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	5～15
	アレスダイナミックルーフ(ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA				エアレス	

### ハルスハイリッチ無機有機複合ハイブリッド塗料仕上げの場合

3	上 塗	アレスダイナミックルーフMUKI(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	2	0.15～0.25	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	0～10
---	-----	---	---	-----------	---------------	-----------------	------

※下地の劣化が激しい場合は、下塗に「アレスダイナミックシーラーマイルド透明」をご使用ください。

※新生瓦の劣化程度により、標準所要量が大きく異なることがあります。

※洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には塗装できません。

※塗装後、水切り部の重なり部分が塗料で詰まった場合には、皮すきなどで必ず縁切りを行ってください。

※瓦の上下に隙間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により漏水や素材の腐食、塗膜剥離、膨れなどに繋がる恐れがあります。

## 旧塗膜適性

弱溶剤系旧塗膜全般に適用可能

● フタル酸 ● アクリル ● ウレタン ● アクリルシリコン ● フッ素

※アクリル樹脂系非水分散形(NAD形)旧塗膜には不適(ワレ)

\*アレスセラマイルドグロスなど

## 適用上塗塗料

- 合成樹脂調合ペイント
- アレスエコレタンII
- ユニテクト10・20・30
- セラMレタン
- スーパーシリコンルーフ
- アレスダイナミックMUKIマイルド
- セラMフッソ
- スーパーフッソルーフ
- アレスダイナミックTOPマイルド
- セラMシリコンIII
- カンペ1液MレタンHG
- アレスダイナミックルーフMUKI
- コスモマイルドシリコンII
- カンペ1液MシリコンHG
- アレスダイナミックルーフ

※各種水性上塗は適用外となります。

# アレスダイナミックプライマー

## 製品情報

※この見本は印刷のため、実際の色とは異なります。色合わせの目的には使用できません。

色	色名	赤さび	グレー	黒さび	白
	日塗工No.	09-30L (近似)	25-75A (近似)	19-20B (近似)	N-93 (近似)
容量	16kgセット(ベース14.4kg、硬化剤1.6kg)・4kgセット(ベース3.6kg、硬化剤0.4kg) ※4kgセットはグレー、白のみ				
艶	艶消し				
希釈用シンナー	塗料用シンナーA ※洗浄用:ラッカーシンナー				
希釈率(重量%)	ハケ・ローラー:0~10 エアレス:0~10				
標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	ハケ・ローラー:0.13~0.15 エアレス:0.16~0.18 ※新生瓦/ハケ・ローラー:0.13~0.23 エアレス:0.16~0.27				
乾燥時間	23℃×4時間				
危険物表示	第4類第2石油類				
労安法上の表示有害物	ベース:キシレン 硬化剤:—				
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆				
規格	JASS 18 M-109				

## 施工上の注意事項

### 【共通事項】

- 上塗塗料には「アレスダイナミックTOPマイルド」の他、各種上塗塗料が使用できます。中面の適用上塗塗料および各カタログをご参照ください。
  - 低温の環境下では乾燥が遅くなりますので、上塗との塗装間隔を十分空けてください。
  - 標準所要量、膜厚は被塗物の素地や形状、塗装方法などにより増減することがあります。
  - アレスダイナミックプライマーは、乾燥過程で水(降雨、結露等)の影響を受けると白化することがあります。白化した場合は軽く表面を研磨するなどの処置をしてから次の工程に移ってください。
  - 上塗に強溶剤系塗料を使用する場合には営業にお問い合わせください。
  - 降雨の予想される日や、気温5℃以下・湿度85%以上での塗装は避けてください。
  - 使用時間以上経過した塗料は、所定の塗膜性能を発揮しないため、塗料状態が塗装可能であっても使用しないでください。アレスダイナミックプライマー(23℃で7時間以内)
  - 品質が保持する塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗膜確保による施工を行ってください。
  - 塗装用具などは、その日のうちにラッカーシンナーで洗浄してください。
  - 吸い込みの著しい素材には、2回以上塗装してください。
- 【鉄・非鉄金属面の場合】
- 錆が発生している箇所はワイヤーブラシ・サンドペーパー等で完全に除去してください。素地露出部は補修塗料を行い、所定の塗装仕様で塗装してください。
- 【窯業系サイディング面の場合】
- 劣化が大きい場合は、下塗を1回増し塗りしてください。
  - サイディングボードに既に反り、欠落、ワレ、変形が発生している場合には、サイディングボードを取り替える必要があります。
  - シーリング材とサイディングボードとの接合面に、割れが、ウキが認められる場合には、シーリング材を打ち直してください。
  - シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シープラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をバンダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
  - 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法

- 「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。
- 旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- 無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂、シリコン樹脂など特殊な樹脂で処理された窯業系サイディングボードは十分な付着性を得られない為、本製品の代わりに「アレスダイナミックシーラーマイルド」を用いてください。

### 【新生瓦の場合】

- 下地調整が不十分な場合、塗膜剥離の原因となります。塗り替えの際には、必ず高圧水洗・ブラシなどによる水洗を行い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 高圧水洗を行うと屋根が滑りやすくなりますので、足場には十分注意してください。洗浄後、破損、役物の釘浮き、シーリング切れなどをチェックを行い、補修が必要な場合には適切な処置を行ってください。
- 被塗面が雨・露・霜などで濡れているときは十分に乾燥させてください。未乾燥で塗装するとフクレ、塗膜剥離、ワレなどの原因となりますのでご注意ください。
- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦など)には塗装できません。下地の劣化が激しい場合は、下塗に「アレスダイナミックシーラーマイルド透明」をご使用ください。
- 塗装後、水切り部の重なり部分が塗料で詰まった場合には、皮すきなどで必ず縁切りを行ってください。瓦の上下に隙間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により漏水や素材の腐食、塗膜剥離、膨れなどに繋がる恐れがあります。

### 【金属屋根面の場合】

- ほこり・油・樹脂等は、塗装前に溶剤拭き・水洗い(温水)等で十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。特にトタンの折り曲げ部分はほこり・砂等がたまり易いので入念な清掃を行ってください。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦葺の凸部、はざ部にはこすり付けるように増し塗りを行ってください。

### 【モルタル面の場合】

- 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または表面含水率5%以下(ケツ科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合: 空気の清浄な場所へ安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保管
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 安全性
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
  - 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935  
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

(23年04月06日PKO) カタログNo.858